



発行日：令和5年7月31日

今月の図書の扉は夏休み特別号です!

夏休み、何かを始めるにはピッタリな機会。そこで!散歩、始めてみませんか?「散歩が趣味」と話すと「おじいちゃん?」と言われることもありますが、実は散歩には魅力がたくさんあるんです!

散歩をしていると普段車や自転車で通り過ぎていたら気づかなかった素敵な景色や面白そうなお店にしばしば出会えることがあります。そして何よりも健康に効果を感じられるのが大きな魅力。体の代謝が上がって肌の調子がよくなったり日の光を浴びて幸せホルモンである「セロトニン」分泌が促進されたりします。夏休み、勉強をして疲れたら散歩をしてみてください。見た目以上に楽しくて今日から始められる、以上『散歩のすゝめ』でした!

「死の淵を見た男 吉田晶朗と福島第一原発」

門田隆将 / (KADOKAWA)

この本は2020年に公開された映画

「フクシマフィフティ Fukushima50」の原作小説です。2011年に起きた東日本大震災の時の福島第一原発で何が起きていたのかを当時者達や遺族の方への取材をもとに鮮明に描いています。

実際の資料や当時の写真など、かなり衝撃を受ける内容もあります。

しかしこのような事実こそ目を向けて、今後起きると言われている南海トラフ地震や首都直下型地震などに対しても関心を持って生活していきたいと思いました。



「屍人荘の殺人」今村昌弘 / (東京創元社)

みなさん、クローズドサークルものはお好きでしょうか?これは夏合宿に訪れたミステリー同好会の二人と、美人探偵が事件に巻き込まれるという一見よくありそうな設定ですが、一気読み必須の面白さで、THE 本格ミステリーです!デビュー作ながら国内主要ミステリー賞の軒並み一位を受賞した作品で、2019年に神木隆之介主演で映画化

もされ、少年ジャンププラスにてコミカライズもされた作品です。映画の内容は少し軽めなので、ぜひ映画→小説の順で見ることをおすすめします!あと映画予告だけを見てから映画を見ると、〇〇〇が出てくるので要注意です。。



「僕が愛したすべての君へ」

「君を愛したひとりの僕へ」乙野四方字 / (早川書房)

この2冊の本はパラレルワールドの存在が立証され、異なる世界間を移動できるようになった世界の物語で、それぞれの異なる世界における主人公の人生や恋愛を描いた話です。同じ人物でも生き立ちや性格、他者との関係が違い、それぞれの世界が影響しあう所やそれぞれの世界における主人公の苦悩が感じられる箇所がとても面白いのでお勧めです。

